

解体前写真2



解体前

吹き抜けホール★

玄関を入りホールに進むと、見事な吹き抜けになっている。甚吉邸はこのホールをハブとし、各部屋にアクセスできる設計になっている



解体前

浴室★

浴室などの水回りに使われているのが、京都の泰山製陶所のタイル。釉薬の具合によって一枚一枚の表情が異なる布目タイルだ



解体前

暖炉下の泰山タイル

応接室全景★

1階の応接室。中に入ると、チャペル風のどっしりとした空間に圧倒される。飾りの陶板には甚吉の地元になんだ鶴があらわれるが、解体時、内部に別の陶板が見つかった



内部で発見された信長らしき陶板



解体前



解体前

食堂天井のレリーフ★

チューダー様式の特徴を持つ食堂の天井。花をモチーフにした装飾が一面に広がり、異世界にいるような気がしてくる。甚吉邸を象徴する装飾のひとつだ。なおこの部分は、あらかじめ成形したものを天井に取り付けるという手法で作られている